

和田誠展

WADA Makoto



©Wada Makoto

2022
4/23(土) – 6/19(日)
熊本市現代美術館

平素から、当館の展覧会活動に対して、ご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび熊本市現代美術館では「和田誠展」を開催いたします。

本展は、和田誠の膨大で多岐にわたる仕事の全貌に迫る初めての展覧会です。和田誠を知るうえで欠かせない30のトピックを軸に、83年の生涯で制作した多彩な作品や資料およそ2,800点を紹介します。

つきましては、ご多忙の折とは存じますが、同展についてご紹介いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

開催概要**展覧会名**：和田誠展**会 期**：2022年4月23日（土）－6月19日（日）【50日間】**会 場**：熊本市現代美術館

熊本市中央区上通町 2-3 びふれす熊日会館 3 階

開館時間：10:00－20:00（展覧会入場は 19:30 まで）**休 館 日**：火曜 ＊ただし 5 月 3 日（火・祝）は開館し、5 月 6 日（金）は休館**主 催**：熊本市現代美術館 [熊本市・公益財団法人 熊本市美術文化振興財団]、熊本日日新聞社**特別協力**：和田誠事務所、多摩美術大学、多摩美術大学アートアーカイヴセンター**企画協力**：ブルーシープ、888 ブックス**後 援**：熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、
熊本国際観光コンベンション協会、J:COM 熊本、エフエム熊本、FM791（予定）**観 覧 料**：

	当日券	前売券 ^{*1} / 団体割引 ^{*2}
一 般	1,100 円	900 円
シニア（65 歳以上）	900 円	700 円
学 生（高校生以上）	600 円	500 円
中学生以下	無料	

^{*1} 前売券販売は 3 月 5 日（土）から 4 月 22 日（金）まで^{*2} 割引料金は以下の方に適用

20 名以上の団体／各種障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳等、付き添いの方 1 名も適用）、電車・バス 1 日乗車券、JAF 会員証、緑のじゅうたんサポーター証、美術館友の会証を提示された方

[チケット取扱]

熊本市現代美術館

イープラス (e+)、ローソンチケット [Lコード：84471]、セブンチケット [セブンコード：092-998]

展覧会内容

和田誠（1936-2019）は、イラストレーター、グラフィックデザイナーとして広く知られています。

そのほかにも装丁家や映画監督、エッセイスト、作曲家、アニメーション作家、アートディレクターなどさまざまな顔を持ち、その創作の広がりとはとどまるところを知りません。

本展は、和田誠の仕事の全貌に迫る初めての試みです。代表的な仕事を中心としたビジュアル年表や和田誠の輪郭をとらえる上で欠くことのできない30のトピックを軸に、およそ2,800点の作品や資料を紹介します。

会場では『週刊文春』の表紙の仕事はもちろん、手掛けた映画の脚本や絵コンテの展示、CMや子ども向け番組のアニメーションの上映も行い

ます。私たちは和田誠の仕事の断片的に知ることはあっても、

その全体像を一望する機会には得がたいものだったといえるでしょう。本展では和田誠の多彩な作品を展覧しつつ、幼少期に描いたスケッチなどを交え、その創作の源流を紐解きます。

誰もが知っているようで、実は知らなかった、和田誠の膨大な仕事に触れるかつてない展覧会です。



『きまぐれロボット』（文・星新一）カバー
1999 理論社
©Wada Makoto

作家略歴

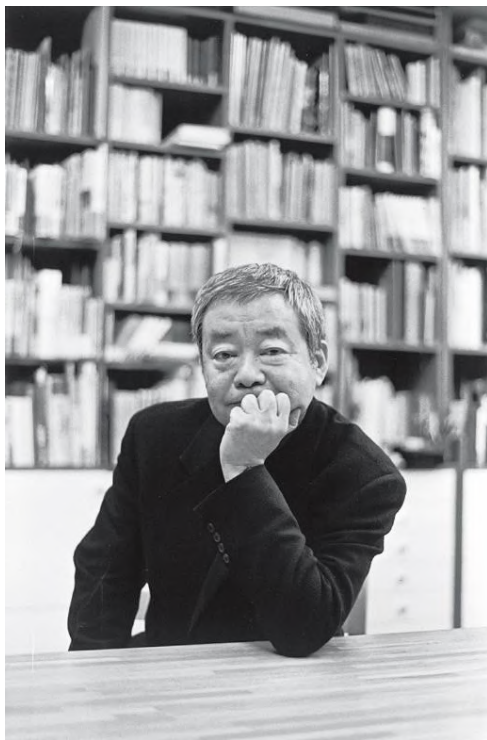


photo: YOSHIDA Hiroko

和田誠

1936年大阪に生まれる。

多摩美術大学図案科（現・グラフィックデザイン学科）を卒業後、広告デザイン会社ライトパブリシティに入社。

1968年に独立し、イラストレーター、グラフィックデザイナーとしてだけでなく、映画監督、エッセイ、作詞・作曲など幅広い分野で活躍した。

たばこ「ハイライト」のデザインや『週刊文春』の表紙イラストレーション、谷川俊太郎との絵本や星新一、丸谷オーなど数多くの作家の挿絵や装丁などで知られる。

報知映画賞新人賞、ブルーリボン賞、文藝春秋漫画賞、菊池寛賞、毎日デザイン賞、講談社エッセイ賞など、各分野で数多く受賞している。

展示概要

1. 全世代が知る国民的イラストレーターの仕事を一挙公開。和田誠の仕事、総数約 2,800 点を展覧
書籍と原画だけで約 800 点。2000 号に及んだ『週刊文春』表紙の仕事の回顧展示も行います。

2. 貴重なオリジナル作品の数々

学生時代に制作したポスターや初期に製作したアニメーションも紹介。

3. 30 のトピックスで和田誠の全仕事を紹介

展示構成を特徴的なトピックスにわけて和田誠が携わった仕事の全貌を展覧します。



仕事場の作業机
photo: HASHIMOTO Hirotake

好きなことを好きなだけ。和田誠をめぐる 30 のトピック。

1. 未来を予感させる子どもの頃の絵や映画日記「和田誠になるまで」
2. たばこ「ハイライト」をデザイン「ライトパブリシティの時代」
3. 独特の色彩と大胆な構成で映画ファンを夢中にさせた「新宿日活名画座」ポスター
4. 文化的交流が後の仕事にもつながった「草月アートセンター」の仕事
5. 作りたいものは自分で作る。最初の絵本は「私家版絵本」
6. 大胆な発想でのびのびと「谷川俊太郎との仕事」
7. グラフィカルでアイデア満載、画法もバラエティに富んだ「絵本」
8. 楽しくやさしく「児童書のイラストレーション」
9. 回文、しりとり、数え歌。ことばあそびの魅力「ことばのこぼこ」
10. 挿絵、訳詞も手がけたライフワーク「マザー・グースの世界」
11. 「みんなのうた」第一回目は和田誠の「アニメーション」
12. 少ない要素で特徴をつかむ職人芸「似顔絵」
13. 音楽、映画、ショービズ、青年期を綴る「エッセイ」
14. 一流の映画ファンは一流の「映画監督」
15. 手がけた書籍は 2000 冊以上「装丁」
16. 装丁に見る「和田文字」
17. 31 センチ角の舞台「LP ジャケット」
18. 趣味の域を超えるあたたかなメロディ「作曲」
19. 音楽、劇場、映画、広告など幅広く「ポスター」
20. 革新的雑誌のアートディレクション「話の特集」
21. 真面目に遊ぶ「パロディ」
22. クスツと笑えるユーモアの「ひとコマ漫画」
23. シンプルでぬくもりのある「ロゴ・マーク」
24. 長く続いたシリーズ「ロングランの仕事」
25. 描いた表紙は約 2000 点、40 年続いた「週刊文春」
26. お気に入りのモチーフ「猫」
27. 愛情豊かに「家族との仕事」
28. 絵ができるまで「ただいま制作中」
29. 初めての本は 1960 年「著書 200 冊」
30. 83 年間の膨大な仕事・交友・出来事を視覚的にたどる「ビジュアル年表」



(上から下へ)
《デューク・エリントン》 個展「JAZZ」より 1992
『しりとり』(文・谷川俊太郎) 1965 私家版
「新宿日活名画座」ポスター1959
『週刊文春』表紙 2017
©Wada Makoto

関連イベント

■和田シネマパラダイス

本展会期中、和田誠監督作品「快盗ルビイ」など、ゆかりの映画作品の特集上映を行います。
(上映作品については当館HPをご覧ください。情報は3/5ごろ公開予定です。)

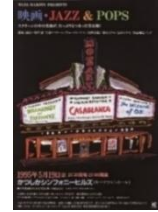
期 間：4月25日(月)～6月13日(月)

日 時：各週月曜日、14:00-と17:00- の1日2回上映

会 場：熊本市現代美術館 アートロフト

定 員：各回45名(要事前予約・先着順)

入場料：無料



《映画・JAZZ & POPS》ポスター 1995
かつしかシンフォニーヒルズ
©Wada Makoto

* 和田シネマパラダイスの観覧申込は、メール・電話で受付を行います。
詳しくは当館HPをご覧ください。

■プラネタリウム「ぬすまれた月」スペシャル投映(※予定)

本展会期に合わせて、和田誠の絵本を原作としたプラネタリウム作品を熊本博物館で投映します。
(投映スケジュールは熊本博物館のHPをご覧ください。※4月初旬に情報公開予定)

期 間：4月23日(土)～6月19日(日)

会 場：熊本博物館 プラネタリウム(月曜休館)

観覧料(博物館入場料とプラネタリウム観覧料の合計額)：

一般600円/大学生・高校生450円/小・中学生300円

* 本プログラムの会場は熊本市現代美術館ではありませんのでご注意ください。

【注意】 新型コロナウイルスの状況により、展覧会および関連プログラムの変更や中止等を行う場合があります。
詳細と最新情報については当館ホームページまたはSNSをご確認ください。

| 記者発表 |

2022年4月22日(金) 13:30～

※一般公開 - 4月23日(土) 10:00～

■タイムスケジュール

13:00 受付開始

13:30 記者発表、内覧会開始



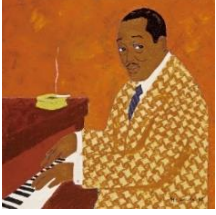





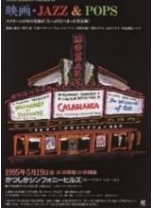





- ・会場案内(担当学芸員によるツアー形式/30分)
- ・撮影タイム(60分)

15:00 会場クローズ

■注意事項

- * 作品保護のため、館内では**鉛筆**をご使用ください。お持ちでない方には貸出をいたします。
(ボールペン・シャープペンシルのご使用はお控ください。インク、先のとがったものによる作品の破損を防ぐためです。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします)
- * 作品保護のため、お手回り品(リュック等)が壁や作品に触れないよう、ご注意ください。
(会場でご使用にならないお荷物はコインロッカーをご利用いただくか、お預かりもできますのでお声がけください)
- * ご参加予定の方は事前にご一報いただけますと幸いです。
- * 受付にてお名刺を1枚頂戴いたします。お持ちでない場合は芳名帳へのご記入をお願いします。
- * 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、美術館入口にて検温、手指の消毒にご協力をお願いしております。

【広報用画像】

<p>■1</p>  <p>©Wada Makoto 和田誠 photo: YOSHIDA Hiroko</p>	<p>■2</p>  <p>©Wada Makoto 仕事場の作業机 photo: HASHIMOTO Hirotaka</p>	<p>■3</p>  <p>©Wada Makoto 《デューク・エリントン》 個展「JAZZ」より 1992</p>
<p>■4</p>  <p>©Wada Makoto 『ことばのこぼこ』より 1995 瑞雲舎 (1981 初版 すばる書房)</p>	<p>■5</p>  <p>©Wada Makoto 「ねことヴァイオリン」 会報誌表紙 1979 多摩美術大学アートアーカイヴセンター蔵</p>	<p>■6</p>  <p>©Wada Makoto 『きまぐれロボット』(文・星新一) カバー 1999 理論社</p>
<p>■7</p>  <p>©Wada Makoto 『しりとり』(文・谷川俊太郎) 1965 私家版</p>	<p>■8</p>  <p>©Wada Makoto 《夜のマルグリット》ポスター 1957 多摩美術大学アートアーカイヴセンター蔵</p>	<p>■9</p>  <p>©Wada Makoto 《映画・JAZZ&POPS》ポスター 1995 かつしかシンフォニーヒルズ</p>
<p>■10</p>  <p>©Wada Makoto 「新宿日活名画座」ポスター 1959</p>	<p>■11</p>  <p>©Wada Makoto 「草月ミュージック・イン 第18回」ポスター 1962 草月アートセンター</p>	<p>■12</p>  <p>©Wada Makoto 《MURDER!》アニメーション原画 1964 多摩美術大学アートアーカイヴセンター蔵</p>
<p>■13</p>  <p>©Wada Makoto 『週刊文春』表紙 2017</p>	<p>■14</p>  <p>©Wada Makoto (★和田誠自画像)</p>	

【広報用画像について】

広報用画像をご用意しております。

下記内容をメールでお知らせください。広報担当からご連絡いたします。

- ① 掲載媒体 / ② 希望画像 No. / ③ ご担当者様のお名前、ご連絡先（メールアドレス等）

【使用に際しての注意事項】

画像のご使用にあたっては、以下の点にご留意お願いいたします。

- ・使用目的は、本展のご紹介に限ります。本展終了後の使用はできません。
ご使用後は（掲載、未掲載に関わらず）画像データを削除してください。第三者への譲渡は禁止します。
- ・作品キャプション・クレジットを明記してください。
- ・トリミング、部分使用、文字等を重ねての使用はできません。
- ・掲載紙・誌、同録 DVD 等を当館に一部寄贈してください。（WEB 媒体の場合は掲載 URL をお知らせください）

原稿ができ上がりましたら広報担当までお送りください。

速やかなお戻しを心がけておりますが、確認に 3～5 日程かかる場合がございます。ご了承ください。

お問い合わせ先

熊本市現代美術館（広報担当：広報チーム 学芸担当：佐々木玄太郎）

〒860-0845 熊本市中央区上通町 2-3 TEL：096-278-7500 FAX：096-359-7892

HP：www.camk.jp E-mail：gamadas@camk.or.jp



- ・美術館入口(びぶれす熊日会館 3階) まで、通町筋電停
又はバス停から徒歩 1 分です。電車通り側歩道から、
エスカレーター又はエレベーターをご利用ください。
- ・「びぶれす熊日会館」の駐車場 (有料) は、数に限りがあります。
できるだけ公共交通機関をご利用ください。